

令和元年度 第2回 尼崎市総合教育会議 議事録

【日 時】 令和元年6月10日（月）午後2時15分～午後3時15分

【場 所】 尼崎市役所 北館4階 4-1会議室

【出席者】 尼崎市総合教育会議構成員

稲村 和美	市長／座長
松本 眞	教育長
濱田 英世	教育委員
仲島 正教	教育委員
礪田 雅司	教育委員
徳山 育弘	教育委員

関係者（尼崎市総合教育会議設置要綱第5条）

森山 敏夫	副市長
辻本 正樹	こども青少年局長
白畑 優	教育次長
北垣 裕之	教育次長
能島 裕介	こども青少年局兼教育委員会事務局理事
高橋 利浩	学校教育部長
宮原 久弥	学校教育部次長

【事務局】 こども青少年局 こども青少年部 こども政策課

【資 料】

- ・次第
- ・資料1 臨時尼崎市総合教育会議の内容について
- ・資料2 市立尼崎高等学校野球部調査について（市尼野球部アンケート調査結果）
- ・資料3 市立尼崎高等学校全校調査について（市尼全校アンケート調査速報）
- ・資料4 今後の体罰根絶に向けた取組体制について（案）
- ・資料5 今後の体罰根絶に向けた取組スケジュール（案）
- ・資料6 いじめ再発防止に向けた主な取組の進捗状況について

【次 第】 開 会

- 1 市立尼崎高等学校野球部調査と市立尼崎高等学校全校調査について
- 2 市立尼崎高等学校体罰事案を踏まえた再発防止策について
- 3 いじめ再発防止に向けた取組みの進捗状況について

閉 会

- 稲村 協議の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。
- 今年度第1回の総合教育会議において、私たちは、一昨年に市立中学校で発生した自死事件を踏まえ、なによりも児童・生徒の生命、安全を守るという重大な責務について確認しました。学校や教育に対する信頼を改めて構築しているというときに今回の体罰事案が起きたことは、極めて遺憾であり、重く受け止めているところです。
- 体罰は決して許されることではありません。その強い決意を持って、先日の記者会見に教育長と共に臨みましたが、その2日後に市立中学校において、体罰事案が発生しました。市内学校園における体罰の現状は極めて深刻なものであるといえます。
- 加えて、体罰の隠蔽や情報伝達上の課題など、学校や教育委員会のガバナンスに大きな問題があることが明らかになったと認識しています。
- 今回の出来事を契機に徹底的に膿を出し切り、学校や教育委員会のガバナンスのあり方、ひいては教育、指導のあり方についての踏み込んだ分析と検証を行うこと、そしてその結果に基づいた抜本的な対策を進めていかない限り、根本的な解決にはいたらないとの思いを強くしています。
- 改めて、安心安全な学校づくりと学校教育への信頼回復に全力を尽くすという強い決意のもと、教育委員会と一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
- 議事に先立ちまして臨時尼崎市総合教育会議を開きましたので、その確認をさせていただきます。お手元の資料1をご覧ください。
- 5月16日に市長と教育長で臨時尼崎市総合教育会議を開かせていただきました。教育委員の方には、事前に4つの大きな確認事項について、了承をいただきました。
- 1つ目は、教育委員会が事実確認した内容について、できるだけ早く報告を行うこと。既に記者会見をさせていただいています。
- 2つ目は、市立尼崎高等学校男子バレーボール部の体制について厳正かつ適正に対処すること。
- 3つ目は、被害生徒並びにその他の生徒に対するフォローをしっかりとさせていただきたいこと。これについては、後程報告をしていただきたいと思います。
- 4つ目は、全ての学校での調査を徹底するということ。
- まず、教育長から、バレーボール部の現状について報告をお願いします。
- 松本 男子バレーボール部の体制については、コーチと監督は、指導から外れております。
- 試合については、引き続き出場しております。指導者の問題はありますが、できるだけフォローができるよう、体制の強化について準備しております。生徒にとっては部活動、進路と大切な時期ですので、学校、教育委員会としてもしっかりとフォローしたいと思っております。
- 指導主事が学校を訪問した際には、引き続き丁寧なサポートをしていきたいと思っております。
- 稲村 では、続いて教育長から議題1「市立尼崎高等学校野球部調査と市立尼崎高等学校全校調査について」、資料2、3の説明をお願いします。
- 松本 (資料2、3説明)
- 野球部については、加害コーチの体罰が多くの子供に見聞きされております。野球部長の体罰も部員の8割以上が見聞きしたことがあるとのことでした。野球部に関係している指導者7名のうち3名から体罰の情報が寄せられて

います。バレー部同様に野球部でも体罰を根絶すべく、しっかりと詳細調査を行い、厳正に対処してまいります。

全校調査では、34名の生徒が教師からの危険にさらされており、大変申し訳なく思っております。両部活を中心として、体罰を容認する空気があったことを非常に重く受け止めており、学校として認識していなかったのであれば、子どもの安全を守る学校としては、極めて問題があると思っております。これまでの指導体制、学校の体質そのものの問題だと考えております。

また、アンケート情報を元に聞き取りを行っておりますが、加害コーチは、他の活動での体罰についても認めており、引き続き確認をしております。

野球部長については、現在事実を認めていませんが今後調査を行い、事実関係を整理してまいります。

その他の情報についても詳細調査を進め、市長も言いましたが、膿を出し切るとともに、体罰を根絶するための方策をしっかりと議論してまいります。

稲村 全校調査で34名の生徒が体罰を受けたことがあると回答していることを重く受け止めなければならないと思います。今後ヒアリング等で詳細な調査が進んでいきますが、アンケートだけで全てが認定できるわけではありませんが、しっかりと調査をしていく必要があると思っております。

アンケートは、匿名性にも配慮して実施しており、回答率も高く、一定の回答が出ていると思っております。アンケートで全ての情報が出切っているかは、分かりませんが、アンケートの対象になっていない人の情報もいただけるような窓口の開設が必要だと思いますが、いかがですか。

松本 まだ準備は出来ていませんが、体罰に関する特設ホームページを作りたいと思っております。幅広く、体罰の情報、体罰の報告、相談をできるような窓口を作っていきたいと思っております。

稲村 ホームページの情報やアンケートの情報からヒアリングなどをしていけたらと思います。

全ての市立学校園での調査を実施すべきではないかとお願いをしておりましたが、いかがでしょうか。

松本 市立高等学校2校については、今週アンケート調査を実施する予定です。中学校については、今週中にアンケート調査を実施したいと思っております。幼稚園、小学校、特別支援学校についても、6月中にはアンケート調査を実施する予定です。取りまとめの時期については、上半期をめぐりにまとめたいと思っております。

稲村 市長部局としては、保育所、児童ホーム、こどもクラブでもアンケートを実施したいと思っております。児童ホーム、こどもクラブは小学校のアンケート項目に追加して行い、保育所は実施方法や中身について幼稚園と合わすなど、教育委員会と連携して行いたいと思っております。

詳細調査はこれからですが、随時迅速に情報交換をしながら取り組みたいと思っております。

続いて、議題2「市立尼崎高等学校体罰事案を踏まえた再発防止策について」協議したいと思います。

市と教育委員会が協力して、体罰を根絶していきたいと思っております。強い決意のもと、体罰を根絶するための基本方針を策定していきたいと思っております。総合教育会議での議論を経て、教育委員会と歩みを合わせ、市として策定していきたいと思っております。今回の市立尼崎高等学校での体罰事案は、体罰の隠蔽、情報伝達上の課題といった、学校や教育委員会のガバナンスが大きな課題であることが明らかになっています。部活動のあり方、進路指導のあり方に踏み込んだ分析が無いと、根本的な解決が難しいと思われま

強豪部活ということで、周りの期待も大きく、同じように生徒たちも頑張ってきましたが、体罰を容認する空気や勝利至上主義の風土があった可能性もあるということで、しっかりとした分析と検証が必要だと思っております。

基本方針の策定に向けて、教育委員会に3点の要請があります。

1つ目は、今回の体罰事案を踏まえた尼崎市立尼崎高等学校における部活動指導、進路指導、その他の指導の現状について分析、検証し、体罰が起こらない学校のあり方について検討すること。

2つ目は、尼崎市立全学校園における児童、生徒等への教育指導のあり方について分析、検証し、体罰が起こらない指導体制について、検討すること。

3つ目は、学校における管理職等のマネジメントの体制、教育委員会の学校に対するガバナンスのあり方を分析、検証し、適切なマネジメント、ガバナンスのあり方について検討すること。

以上、3点について今後の取組の視点として、是非共有、確認をしていただきたいと思っております。

体罰が起こらない安全な学校づくりは、現場と教育委員会の役割になりますが、実効性のある具体的な取組を打ち立て、責任をもって実行していくには、教育委員会の皆さんが課題を自らのものと認識し、主体的に取り組むことが不可欠だと思っております。

こういった主体的な取組には、外部からの客観的なご意見は非常に大切に、市としても一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

市としては、6月1日付で3名の職員を教育委員会に出向させています。

今後の取組体制、スケジュールについて、教育長から説明をお願いします。

松本 (資料4、5 説明)

稲村 質問等ありましたら、お願いいたします。

仲島 今後の体罰根絶に向けた取組スケジュールの件ですが、1月頃までに対策をまとめるということですが、中学生の進学にあたり、安心して願書が出せるように情報を提供してもらいたい。

稲村 市立尼崎高校を志望する中学生にメッセージを出せる場にもなります。

松本 公開での会議の開催を考えており、中間報告をまとめるなど、随時情報を提供していきたいと思っております。

稲村 続いて、議題3「いじめ再発防止に向けた取組みの進捗状況について」教育長から説明を求めます。

松本 (資料6 説明)

稲村 市としても、ゲートキーパー研修を予定しており、今年度は夏と冬を予定しています。教職員、子どもに関わる職員、支援者といった幅広い方に一緒に研修を受けていただきたいと思っております。

スマホ、携帯の使い方について、市長部局としても積極的に取り組んでいきたいと思っております。

子ども・青少年向け 相談窓口カードの作成に取組もうとしておりますので、随時ご報告していきたいと思っております。

松本 いじめ問題対策審議会のメンバーも新しくなりましたが、今年度既に一回開催し、再発防止策を報告し、議論をしております。随時、進捗状況を報告し、改善していきたいと思っております。

稲村 計画したことを実施し、実施したことを効果があるかチェックし、見直すというPDCAサイクルをしっかりと進めることが大事です。総合教育会議においても、進捗を確認していきたいと思っております。

学校のガバナンスについては、いじめにも体罰にも共通する根底にある課題であり、いじめ対策の仕組みの導入も含め迅速な対応をし、根本的なところに

メスを入れ、しっかりと取り組んでいきたいと思ひます。

次に入ってくる新入生にメッセージを出せたらという話もありましたが、体育科は、非常によく頑張ってきました。小学校でも学力向上をすごく頑張ってきました。これまでの成果を踏まえ、課題から目をそらさずに、誰もが胸を張って、安心して通える学校だと言えるように、これからも頑張りたいと思ひます。

全体で何かご意見がありましたら、お願ひします。

磯田 スポーツクラブ 21、学校解放運営委員会など、課外でのスポーツ活動についても、体育協会と協力をしながら、指導者に指導をしていきたいと思ひます。社会教育の一環として、お願ひしたいと思ひます。

濱田 体罰は、あつてはならないこと。

しっかりと調査をしていただきたいのと、子どもたちの心のフォローもしていただきたい。子どもたちの見守り、いろいろな方との関わりを考へて行かないといけなひ。誰か話を聞いてくれる、守ってくれる人がいれば、子どもたちも救われるかもしれない。

徳山 体罰は、暴力行為であり、犯罪行為だということを皆さんに認識してもらいたい。生徒は内申制度により、とても弱い立場です。先生という強い立場からの体罰は、根が深いことだと思ひます。現場でももっと危機意識を持ってもらいたい。

仲島 今回の体罰事件は、とてもショックでした。

桜宮高校の事件の時、市立尼崎高等学校のことを心配していたが、信じていた。今はとても残念です。もっと、学校の中を見ておけばと、反省しています。学校にもよく訪問していたが、生徒も挨拶をしてくれ、礼儀正しく良い学校だと思っていた。素晴らしい学校だと思っただけに、とても残念です。

これから、子どもも先生も気持ちを新たにスタートして、教育委員会としても応援していきたいと思ひます。

先生方の仕事は、とてもたくさんあるので、先生を増やしてほしい。例えば、いじめの専門の先生などを置き、現場を支援していただきたい。県や国が動いて欲しいと強く思っています。

松本 学校には、構造的な問題がある。担任がクラス全体を管理するので、外からの目が届きにくく、先生の管理も難しいように思えます。学校には、そういう特徴があることを我々が認識し、情報を把握できるようにしておく必要があります。

先生をフォローしながら、管理職は教室、部活で行われていることを把握し、社会的に見たときに不適切な場合、それを是正できるような仕組みを作っていくことが大切だと思っております。

稲村 体罰について、しっかりと分析して、根本的な解決に向け、いっしょにがんばっていききたいと思ひます。尼崎の学校教育を良くしたいという気持ちは同じだと思ひます。安全な学校づくり、学校教育への信頼回復、しっかりと頑張りたいと思ひます。

事務局 本日の議事録については、確認をいただいた後にホームページで公開します。次回の開催については、日程調整の上、改めてご案内いたします。以上で終了としたいと思ひます。ありがとうございました。

以 上